

2013年産クランベリー市況



北米産クランベリーの収穫は毎年9～10月頃にウェットハーベストと呼ばれる方法で収穫されます。その収穫方法は特長的で、ボグと呼ばれる畑に50cmほど水を張り、水面をかき混ぜて果実を分離させ、水面に浮かぶ果実をポンプで吸い上げて集荷します。

北米産クランベリーの最大の収穫地であるウィスコンシン州では作付面積の増加とともに農場の区画整備を行ない、栽培の効率化が進んでいます。また、カナダにおいても数年前から作付面積を増やし、近年収穫が可能となった状況から全体的に収穫量が安定しています。昨年の収穫量は約49万メトリックトンと豊作でしたが、今年も栽培が順調にすすんでおり、昨年並みの収穫量が予想されています。

年々各国のクランベリーの引き合いが強まり、輸出量も増加していますが、2013年も豊作予想である状況から現地価格は引き続き安定して推移するものと思われます。



ウェットハーベストでの
収穫風景

(単位:メトリックトン)

	2012年	2013年(予想)
マサチューセッツ州	97,700	96,300
ニュージャージー州	24,300	24,200
オレゴン州	18,300	16,500
ワシントン州	6,200	6,700
ウィスコンシン州	212,900	210,100
アメリカ合計	359,400	353,800
ブリティッシュ コロンビア州	42,800	41,200
東カナダ地区	91,600	86,100
カナダ合計	134,400	127,300
北米合計	493,800	481,200

